

例会報告：2016年5月10日（曇り） 第1933回 通常例会

◆ 会員誕生日

大川 久弥さん（5月14日）

◆ 奥様誕生日

柳井 由美子様（5月15日）

◆ ニコニコ箱

櫻井 康二 委員長



	ニコニコ箱	累計	目標
5月10日分	32,310	924,926	1,300,000

久保田 英男様（鎌倉RC 第2グループガバナー補佐）…うちの
中込が、お世話になります。よろしくお願ひいたします。

金 陽子（旧姓 諏訪間）様…最近うれしい事がありましたので、初めてニコニコに募金したいと思います。①娘 なな子が一歳になり、よちよち・三歩歩くようになりました。②小田原城がリニューアルし、初日に行ってきました。新しくなった展示と映像に感動し、地元を誇りに思います。③河野さんが私の祖母にと、カーネーションと「ロータリーの友」に載っていた弟の記事を持って来て下さいました。四十周年おめでとうございます。

◆ 卓話者

中込 仁志様（鎌倉RC 地区青少年奉仕委員会委員長）…本日は卓話に参りました。よろしくお願ひ致します。

◆ ビジター

松浦 なおみ様（小田原城北RAC）…本日はよろしくお願ひ致します。中込委員長、卓話楽しみにしております。

◆ 会員誕生日

大川 久弥さん…本日は、誕生日のお祝いをいただきありがとうございます。14日で56才になります。まだまだ未熟者ですが、これからもご指導の程宜しくお願ひいたします。

◆ 奥様誕生日

柳井 涉さん…妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。

◆ その他

執行部一同…若葉の緑がすがすがしい季節になりました。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか？残り2ヶ月よろしくお願ひ致します。

河野 秀雄さん…交換留学生で我クラブと井上寛君がカウンセラーした、金 陽子君が（フランスへ行く）社会人になれたお礼と言って、ニコニコへ入れて下さいました。ロータリーって青少年を育てますね。

中村 維孝さん…連休の4日5日6日と熊本へ慰問に行ってきた。予想以上の現状を見て涙が出て来ました。これからも息の長い支援をして行こうと思います。

久保田 知子さん…中込委員長、本日はお忙しい中ありがとうございます。よろしくお願ひ致します。

大川 久弥さん…中込様、本日は卓話をよろしくお願ひします。

仲 徳子さん…先週のゴールデンウィーク3日間、悪天候の中稲毛ヨットハーバーにて東日本FJ級420級の大会にて、娘がFJ級で大会史上初の総合優勝する事が出来、7月末にFJ級ヨーロッパ選手権（オランダ）に日本代表が決まりました。同じく同校420級女子も共に優勝、又も大会史上初女子2ペア制覇！420級女子1組、男子1組、ヨーロッパ世界選手権イタリア出場決まりました。

会長他数名…4/26周年反省会の2次会残として少々ですが。

■ ■ 今後のメークアップ情報 ■ ■

-2016年5月-

- ▶18日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶19日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶20日(金) 湯河原 ニューウェルシティ湯河原 12:30
「クラブ協議会：次年度会長・幹事・委員長」
- ▶20日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「クラブフォーラム（特別）」
- ▶23日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「クラブフォーラム（新世代奉仕委員会）」
- ▶24日(火) 箱根
- ▶25日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
- ▶26日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
- ▶27日(金) 湯河原 家族親睦会
- ▶27日(金) 足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話：クラブ研修/活動計画書予定」
- ▶30日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話/新会員自己紹介
佐藤良知君・白水志治君」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
 事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
 電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
 URL：http://www.odawarajhrc.jp
 Mail：info@odawarajhrc.jp
 例会場：小田原卸センター内会議室
 創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
 例会：毎週火曜日 12:30～13:30
 クラブ会報委員会
 監修：柳井 涉
 編集長：小林 和彦
 コピーライター：小林 和彦
 デザイン：小林 和彦
 フィールド：大川 久弥

会員数：39名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
 ODAWARA JOHOKU R.C.
 2015-2016
 WEEKLY BULLETIN



世界へのプレゼントになろう

- 【R.I. 会長】
K. R. ラビンドラン
- 【R.I. 2780地区ガバナー】
田中 賢三
- 【第9グループガバナー補佐】
石崎 孝



- 【会長】木村 頼弘
- 【副会長】久保田 知子
- 【幹事】柳井 涉
- 【副幹事】須藤 公司
- 【会場監督】西 寛

世界へのプレゼントになろう

Be a gift to the world

本日の例会：通常例会（第1934回）

会場：小田原卸センター内会議室
 日時：2016年5月17日 12：30～13：30
 司会：須藤 公司 副幹事

12：30	開会点鐘：木村 頼弘 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13：00	担当：齋藤会員 卓話：東日本電信電話（株）神奈川西支店 支店長 岡村 浩之様 情報通信の「これまで」と「これから」
13：30	閉会点鐘：木村 頼弘 会長

■ 寄稿

ロータリーの名言

- ・ロータリーとは社会が必要とする事を自ら探求して奉仕する
- ・ビジネスはすべて社会に尽くす手段でなければならない
- ・例会は人生の道場である（米山梅吉）
- ・職業を通じて社会に奉仕する（職業奉仕）
- ・例会は楽しさ（親睦）と有意義（研鑽）が求められている
- ・ロータリーの目的の本質は個人による奉仕の理想の実践という責任の受諾である
- ・出席は会員としての最大の義務であり権利で、少なくとも最小限の奉仕である
- ・地球に陽の沈む時はあってもロータリーの例会のない時間はない
- ・ロータリーの本質は親睦の中から奉仕の理想を生み出す集団である

楽しさと感動を呼ぶ一年にしよう

【今後の例会・卓話スケジュール】

5月24日（火）施設見学会
 横須賀軍港めぐりと横浜屋形船
 10：40 小田原駅西口
 11：00～11：45 卸売団地（例会）
 15：00～15：45 横須賀軍港巡り
 16：45～19：15 屋形船すずよし（懇親会）
 20：40 小田原駅
 21：10 例会場

5月31日（火）通常例会 12:30
 担当：大谷会員
 卓話：NPO法人アール・ド・ヴィーブル
 理事長 萩原 美由紀様
 「障害者アートと社会をつなぐ絆」

6月7日（火）通常例会 12:30
 担当：大谷会員
 卓話：中谷彰吾税理士事務所
 所長 中谷 彰吾様
 「節税対策」

6月14日（火）通常例会 12:30
 卓話：日本ボーイスカウト 小田原地区協議会
 会長 松陰 弘一様
 「ボーイスカウトについて」

- ・新会員推薦は全会員一人々義務であり権利である
- ・ニーズのない所に奉仕の実践はない
- ・ロータリーは人類文化史が20世紀の時代に刻印を打った職業人の最も優れた倫理運動である
- ・相手を許すだけの寛容を持つ事は失われた物よりも、もっと大切なものを勝ち取る結果を生む物である
- ・1987年～88年度国際ロータリー会長チャールズ・ケラー氏、奉仕の理想は人々をつなぐ真の絆である。奉仕とは単に良い事をするだけでなく、人々の役に立つ事です。世界では人とは異なる言語を話し、異なる食事をし、異なる服を着て、異なる宗教を信奉しています。こうした人々を結びつけるには強力な絆が必要です。ロータリーではその絆が超我的奉仕という理想なのです

例会報告：2016年5月10日（曇り） 第1933回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2016年5月10日 12：30～13：30

❖ 会長挨拶 「青少年奉仕」



木村 頼弘 会長

今月はロータリーの5大奉仕の一つ「青少年奉仕月刊」です。2013年の規定審議会で「新世代奉仕」から「青少年奉仕」と名称が変更になりました。この青少年奉仕とは主に3つの大きな役割です。

- 1つ目がIACやRACの活動支援
- 2つ目が青少年交換留学生の派遣や受け入れ
- 3つ目が指導者育成プログラムです。この3つが「青少年奉仕」の大きな役割です。

当クラブはRACを抱えています。1番道近に出来る「青少年奉仕」活動です。しかし現実には当地区の4つのRACは、どのクラブも活動どころか存続の危機に直面しています。そんな今のアクトの現状を知る人も殆どいないと思います。どうしてこのような、RACが衰退しているのか、その原因は勿論RACに責任がある訳ですが、私達にも問題が無いとは言えません。

1「RA」に話を聞いて見ると、私達にどのような事を望んでいるのかと言うと「RCとの距離が遠い」「RCと共に社会奉仕活動がしたい」「自分達の活動がRCの方々に認識されていない」「アクトの例会に来て頂けない」等の意見があります。2私達ロータリークラブがどのように「RA」を見ているかと言うと「アクトが何を活動しているのか判らない」「アクトから何も意見を打ちかけてこない」「予算の無駄使い」「組織として機能していない」等の意見があります。実際、ロータリーアクトに関心を持っている人は殆どいないと思います。

では何故、「RA」に対して関心を持っていないのかと言うと、1番大きな要因は私達にとってRAの存在が無くとも、別にクラブに対して大した影響を受けないからです。そして力関係は私達の方が上です。アクトの予算を削ぎますが、アクトの消滅を促されてもアクトは抵抗する術がありません。悪いのはアクトに責任があるからだと思いつけているからです。だから、アクトに対しての関心も次第に薄れていってしまう様な気がします。要は連携が取れていない、まさに「責任のなすり合い」のような状態が続いています。これが今の「RA」が衰退している原因ではないかと思っています。放っておけば、消滅するのは時間の問題です。私も以前、RAC委員長として地区に2年執行していましたが、地区委員が話し合ってもこれらも問題の解決にはなりません。このような最悪の事態を救えるのは、やはり歴代「RA」委員長と「RA」の実情を知るわずかなロータリアンが彼らにとって頼みの綱となる訳です。「RA」は我々ロータリアンの意思を引き継ぐ者として、地域や社会に対して期待をされている存在です。「RA」の存在意義を再確認して、また奉仕活動のパートナーとして「彼らを育てる」という事が今、問われていると感じています。そして提唱クラブとしての役割は、最後まで彼らを支え支援する事が義務だと思っています。

「RA」を潰す事は簡単です。本当にこれで良いのか今一度考える時期が来ています。次年度の彼らの動向、そして私達の声が彼らにどこまで届くか、その現状と見て今後のアクトに対しての存在を判断をしなければならぬ時期がきていると思っています。会員の中にも、「RA」を存続させたいと思う会員の方がいましたら、せめてアクトの例会に顔を出して頂き、今の現状を見て頂きたいと思っています。

❖ 幹事報告



柳井 渉 幹事

- 1)本日第11回理事会が開催されました。
- 2)40周年式典決算が承認されました。
- 3)6月14日ボースカウトの松蔭様に卓話をいただき寄付をすることが承認されました。
- 4)モンゴルに点字機を送ったお礼状が届いています。
- 5) 5月24日は施設見学会ですが例会は11時より例会場で行われます。お弁当を用意しますので例会のみ出席の方は弁当の手配の関係がありますので出欠をお願い致します。
- 6) 河野会員に2007～2008交換留学生の金陽子（旧姓諏訪間）さんからニコニコが届けられました。詳細はニコニコ箱の時には発表します。
- 7) ロータリーの友5月号14Pに2014～2015交換学生の諏訪間亮君に記事が掲載されています。
- 8) 4月30日のタウンニュースに広告を掲載しました。
- 9) 残念ながら臼井会員、石坂会員の退会届が提出され理事会で承認されました。

❖ 出席報告

阿久津 馨 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
5月10日	39(38)	29	1	78.95%
4月26日	40(38)	30	1	84.21%
4月19日	40(38)	26	1	71.05%

【欠席者】9名
齋藤 永、小川 和夫、一寸木 芳行、志澤 昌彦、石崎 孝、大川 裕、長田 英一、上田 博和、臼井 真一
【今回MU】1名
石崎 孝 (5/9 AG会議)
【前回MU】1名増加
露木 清勝 (4/26 E)
【前々回MU】増加なし

❖ 委員会報告

クラブ会報委員会 小林 委員長

今日の会報の訂正です。最初のページ、アール・ド・ヴィーヴル代表の萩原様のお名前が間違っていました。お詫びして訂正いたします。

40周年実行委員会 杉崎委員長

本日理事会で40周年収支決算の承認をいただきました。出席者は124名、収入は3,957,485円、支出は3,861,490円です。予算通り済ませることができました。95,995円の余剰金はニコニコ箱へ繰り入れたいと思います。

社会奉仕委員会 辻村委員長

5/24の施設見学会、出欠席がまだの方は是非ご参加ください。参加費の1万円は今日から集金していますので事務局へお願いいたします。

次年度 櫻井幹事

例会後に次年度準備理事会を行います。該当の方は談話室へお集まりください。次年度の理事役員委員長会議は5/17に新松田の「わたや」さんで行います。

❖ 卓話

「ロータリーアクトの現状と課題」

第2780地区 青少年奉仕委員長
中込 仁志 様



本日は「ロータリーアクトの現状と課題」そして「ロータリアンが手助けできる可能性」というお話をいただきました。今月は青少年奉仕月間で色々なクラブにお邪魔していますが、どうしてもインターアクトの話が多くなります。現在地区内では14の提唱クラブがあり、年々人数が増えて活動

が活発になっています。今日はロータリーアクトですが、正直現状を打破する具体的な手立てを持っていません。私の所属する鎌倉RCは鎌倉高校というインターアクトと鎌倉ロータリーアクトの両方を支援していますので、鎌倉RCが感じたロータリーアクトの話だと思って聞いてください。以前、青少年奉仕委員会は1つの大委員会の中にインターアクトとロータリーアクトの2つの小委員会を持って、地区内では分けて担当委員会がありました。本年度から小委員会を作らずに統括するという事で、初めて分けて担当させていただきました。田中ガバナーが目指すのは活発なインターアクトの勢いに乗じてロータリーアクトも活性化することでしたが、功を奏していないのが実情です。インターアクトの力は日に日に増していくのに、ロータリーアクトは会長と連絡を取ることさえ大変な状況です。県内64クラブのうち、インターアクトを提唱しているのが14クラブ、ロータリーアクトは4クラブで、非常に貴重なことです。青少年奉仕活動は全てのロータリーが目指す5大奉仕を要約しているのではないかと思います。青少年を通じての社会奉仕活動プログラムへの参加、国際交流国際奉仕へのプログラムに参加を促す、将来地域のリーダーとなるべき人材を育成する。この中にロータリーが目指すものが全て集約されているのではないのでしょうか。その一翼を担っている皆様は地区内でも大事なポジションにいらっしゃることを改めてお伝えします。

現在、相模原・横須賀・鎌倉・小田原城北の4つのロータリーアクトクラブがあり、全てが会員の減少や例会の正常な運営がなされていないという問題を抱えています。地区としても、地区の事業を減らす、ロータリーアクトの担当業務を減らす、など実行しましたが、今のところ功を奏していません。一昨年度こちらの羽生くんに地区代表を務めてもらいました。本年度は最後まで該当者が出ず、代表代行という形でもう1年続けてもらっているのが現状です。その時に新しくルールを作って『4つのクラブの会長経験者が必ず次年度地区の役職を務める』と決めましたが、実際は機能していません。ロータリーアクトは独立性の高いクラブなので、我々が全てハンドリングすることはできず中途半端です。反面中心的なメンバーが卒業してモチベーションが下がり、その中で何かを作り直そう、システムを維持しよう、新入会員を入れようというクラブは1つもありません。私は2年前鎌倉で青少年担当理事になった時、青少年担当理事・インターアクト委員長・ロータリーアクト委員長は3年間人事を変えないで欲しいとお願いしました。そして3年後には必ず委員長を変える、その際は委員会内で3年間一緒に活動したメンバーの中から新委員長を出して欲しい、と。

その中で鎌倉ではいくつかの問題点が見つかりました。1つはロータリアンの問題として発足以来同じメンバーが関わっていて、連絡を怠り自己完結してしまっていたこと。また委員長が毎年交代して、RCから伝えることをお願いすることがぶれてしまっていたこと。インターアクトは学校単位ですが、ロータリーアクトは社会へ出ていく年代の方たちが独自に運営する会になります。ロータリアンは単年度制で役職が変わるので、その弊害として相手に迷惑をかけていないか？逆に長すぎる担当者は独自の感覚・決断でお互いの距離を離してしまうのではないか？などと感じました。もう1つは環境の変化です。昔のロータリーアクターはロータリアンのご子息や新入社員の方が多く、親として会社としてバックアップし、時間の自由も費用の援助もあって活動していました。昨今のメンバーはロータリアンとそれまで関係のなかった方がほとんどです。鎌倉でも職場は東京や相模原など遠方のメンバーが多く、7時からの例会に間に合いません。では例会を9時10時にするとか休日を使うとかになると、彼らにそのモチベーションは無いのです。RCがロータリーアクトのモチベーションの管理に失敗していると痛感しました。意義を感じられないのは彼らの責任でもありますが、我々経験豊富なロータリアンがもっと手助けすべきだったと思います。現在鎌倉は会員が4名しかいません。これで運営していくのが正しいのかも話し合いましたが、理事会の意思としては潰さない解散もしない、但し会員がゼロになっても新しいシステムとやり方のコンセンサスを提唱クラブで取って続けていこうと決めました。世界ではロータリーアクトクラブの数は増えています。日本でも数は増えています。活動が盛んに正常に行われているのかは疑問です。RIでもロータリーアクトの現状を注視しており、今後ロータリアンにも入会権利を持たせようという動きもあります。地区では年次大会、地区協議会という2つの事業を毎年行っています。今年の担当は鎌倉ですが、例会も成立していないのに招かれて京都や金沢へ行くのは本末転倒ではないかと感じます。費用の援助も今年度から見直すことに決め、外部との関連事業を一時中断しても内部充実を優先して欲しいと意向を伝えてあります。

以上は鎌倉の話ですが、おそらく4クラブとも同じような状況でしょう。何年前かロータリーアクトのミーティングで驚いたのは、ロータリアンの方が怒鳴っていたこと。我々にそんな権利があるのか、愛情を持って指導しているのか疑問に感じました。私はまず「ロータリアンとして大人として叱るのは結構ですが、怒らないでください。諭す時も、感情で怒鳴ったり押し付けたりしないでください。恫喝したり委縮させるようなことは謹んでください」とお願いします。ロータリーに絡んでくる青少年の方々は内向的で真面目な方が多く、委縮してしまうと動けなくなります。彼らが活動しやすいように何をすればいいか、最低限して欲しいことは何なのかをきちんと伝えることが重要です。しかし悪い話ばかりではありません。数年前からインターアクト学友会という組織が結成され、自主的に集まって応援されています。この学友会がこれからロータリーアクトに対する起爆剤になると期待しています。インターアクトの活性化をロータリーアクトに繋げていくのが大きなテーマです。小田原城北でもインターアクトの提唱をご検討いただければと思います。